

TamaHome®

# 2016年5月期 第3四半期 決算説明補足資料

タマホーム株式会社 < 1419 >  
2016年4月14日

## 目次

1. 発表のポイント (P. 3)
2. 受注実績 (P. 4)
3. 売上高実績 (P. 5)
4. 営業利益実績 (P. 6)
5. 住宅事業セグメント実績 (P. 7)
6. 非住宅事業セグメント実績 (P. 8)
7. 連結損益計算書(P/L) (P. 9)
8. 連結貸借対照表(B/S) (P. 10)
9. 2016年5月期見通し(修正) (P. 11)

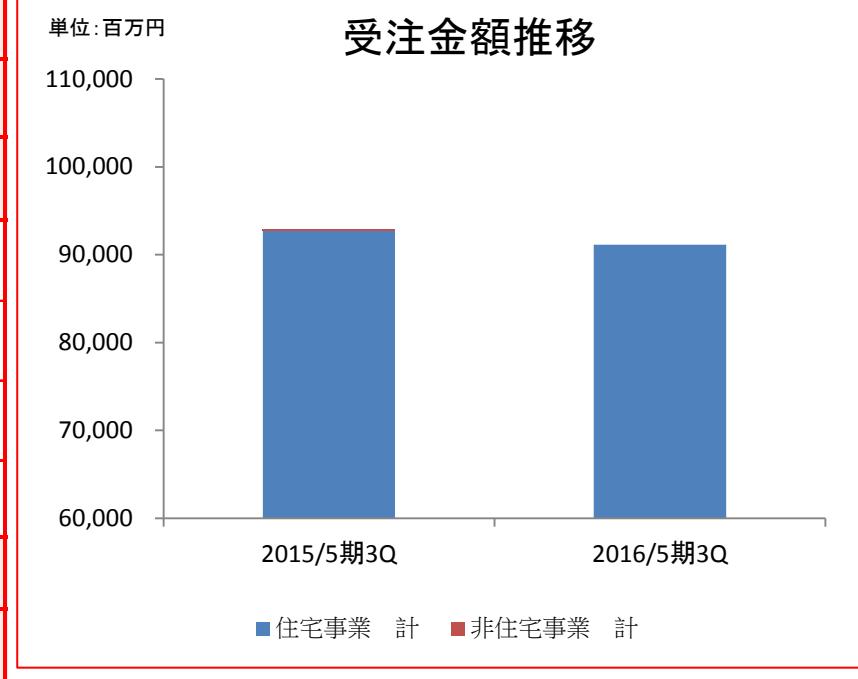
## 1. 発表のポイント

- 期首受注残が前期よりも少なかったこと、消費増税後の回復が鈍く、当上半期の受注も低水準であったため、注文住宅の引渡棟数が減少
- 住宅ローン金利の低下等により消費マインドに変化が見られ、足元では受注が前年同月を上回る
- 通期見通しを下方修正  
職人の確保の難航、一部資材の供給に問題が生じたこと等により、着工および工事進捗の大幅な前倒しに至らず、引渡が計画を下回る。展示場の移転等に伴う減損損失等287百万円を特別損失に計上したことにより、通期見通しを修正

## 2. 受注実績

- 当上半期は消費増税後の消費マインドの冷え込みが続き、住宅事業は前年同期比で1.8%の減少  
2015年11月以降は前年同月比でプラス傾向
- リフォーム事業はアフターマーケット事業部として第2四半期から本格再始動

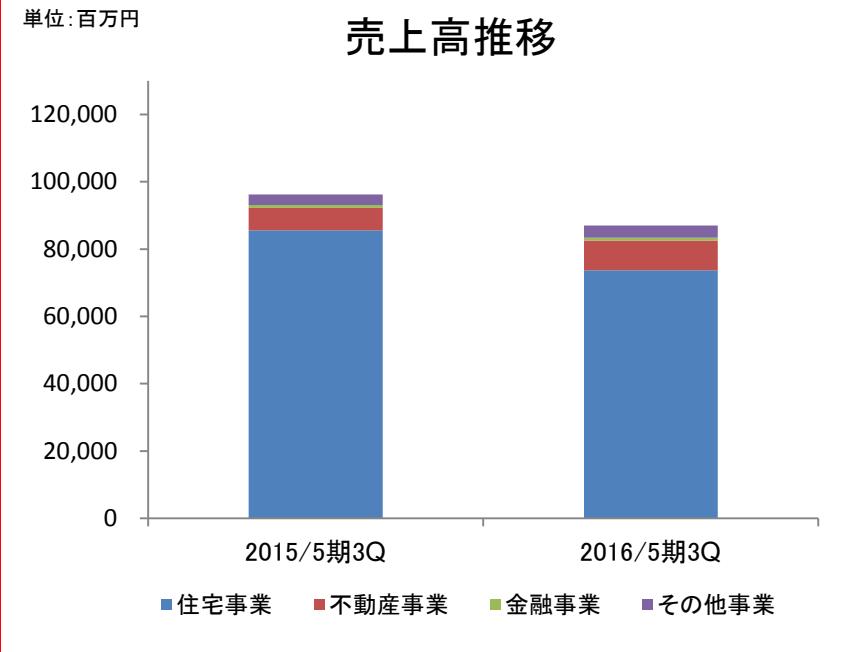
(単位: 百万円)	受注金額		
	15/5期 3Q	16/5期 3Q	前期比
住宅事業 計	92,794	91,158	98.2%
注文住宅	92,479	90,646	98.0%
(棟数)	5,202	5,142	98.8%
賃貸住宅	79	0	—
リフォーム	235	510	217.0%
その他事業	157	0	—
総 計	92,951	91,158	98.1%



## 3. 売上高実績

- 住宅事業は、期首受注残の減少、当上半期の受注低迷により前年同期比で減少
- 不動産事業は、分譲戸建の販売が堅調に推移し前年同期比で増加
- 金融事業は、火災保険の付保率が上昇も、長期保険販売停止により契約件数および単価が下落、また、住宅ローンのフラット35Sの利用率、契約件数ともに増加したことなどにより、前年同期比で微増
- その他事業は、メガソーラー事業の商業運転による売電収入増加により、前年同期比で増加

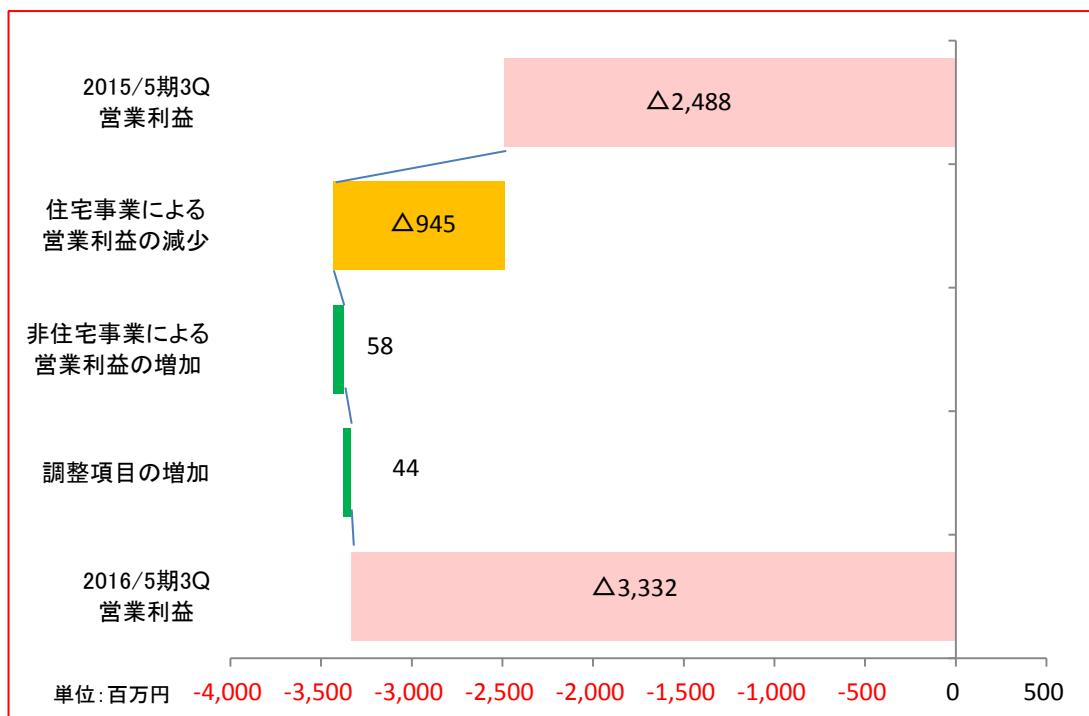
(単位:百万円)	売上金額		
	15/5期 3Q	16/5期 3Q	前期比
住宅事業 計	85,608	73,679	86.1%
非住宅事業 計	10,558	13,320	126.2%
不動産事業	6,611	8,833	133.6%
金融事業	844	891	105.6%
その他事業	3,103	3,596	115.9%
総計	96,167	87,000	90.5%



## 4. 営業利益実績

- 住宅事業は、引渡棟数が前年を下回ったことによる減収が響き減益
- 不動産事業は、戸建分譲の販売が増加するも、前年の土地売却益分の差異が生じ減益
- 金融事業は、10年超契約の火災保険の販売停止により、契約件数および単価の下落が影響し減益
- その他事業は、住宅周辺事業等の損失をメガソーラー事業が吸収し、損失額縮小

(単位:百万円)	営業利益金額		
	15/5期3Q	16/5期3Q	前期比
住宅事業 計	-2,742	-3,688	-
非住宅事業 計	291	349	119.9%
不動産事業	592	306	51.7%
金融事業	408	398	97.5%
その他事業	-709	-354	-
調整額	-38	6	-
総計	-2,488	-3,332	-



## 5. 住宅事業セグメント

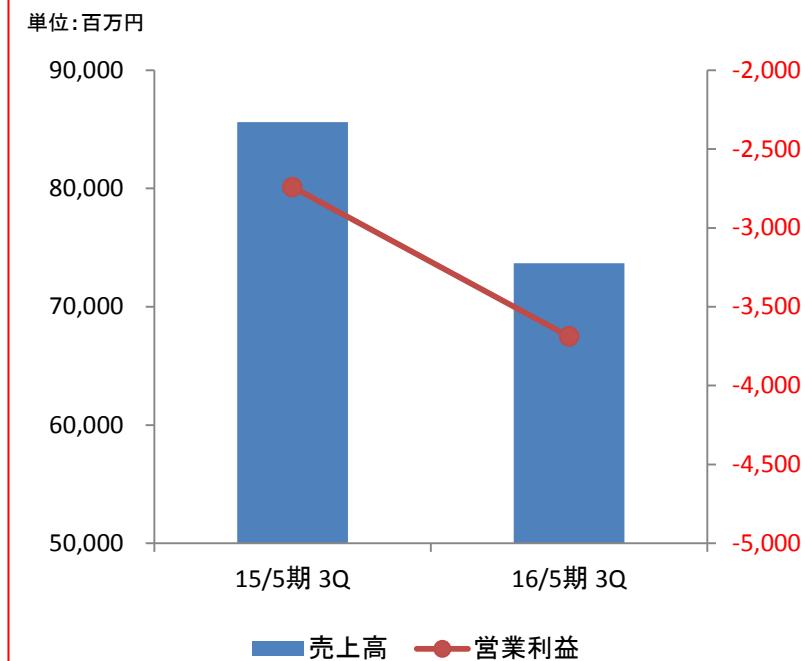
- 売上高 : 73,679百万円(前年同期比 13.9%減)
- 営業損失 : 3,688百万円(前年同期営業損失2,742百万円)

- 注文住宅の引渡棟数が減少  
(2015/5期3Q) 4,780棟  
(2016/5期3Q) 4,067棟

- 注文住宅平均販売単価は  
(2015/5期3Q) 1,753万円  
(2016/5期3Q) 1,784万円

参考(2016/5期2Q) 1,780万円

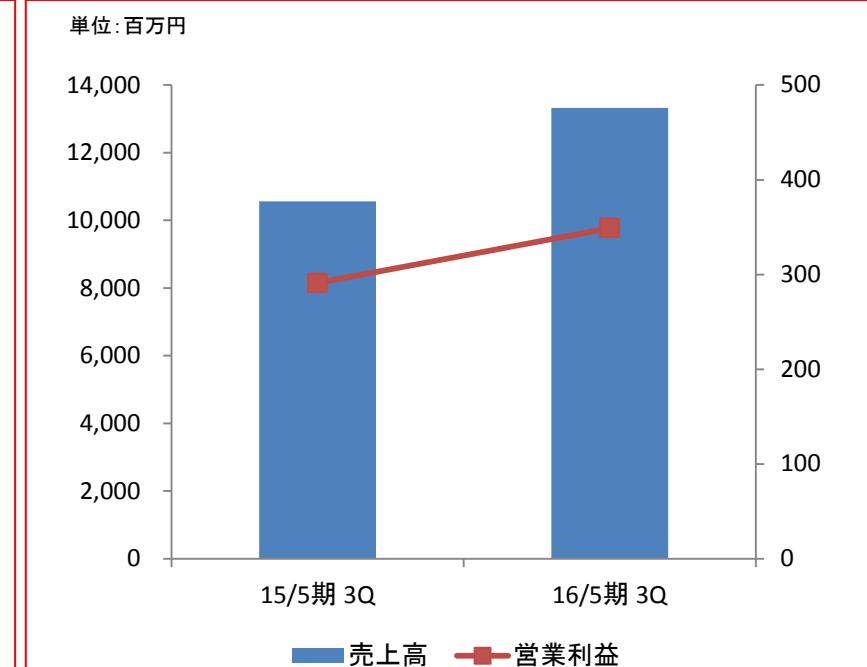
- モデルハウス出店と既存店リニューアル  
新規出店 3店舗  
リニューアル 212店舗



## 6. 非住宅事業セグメント

- 売上高 : 13,320百万円(前年同期比 26.2%増)
- 営業利益 : 349百万円(前年同期比 19.9%増)

- 不動産事業
  - ・戸建分譲の販売棟数が増加するも、前期発生した土地転売による売却益分の差異やタマホーム不動産の1号店出店費用計上により増収減益
- 金融事業
  - ・火災保険の付保率上昇も、住宅の引渡棟数減少と長期契約保険の販売停止により契約件数、単価ともに下落
  - また、住宅ローンはフラット35の利用率、契約件数、単価ともに上昇、生命保険も販売好調に推移し増収微減益
- その他事業
  - ・タマフードインターナショナルの上海におけるレストラン出店費用やその他住宅周辺事業の損失をメガソーラー事業が吸収し営業損失縮小



## 7. 連結損益計算書 (P/L)

- 売上総利益率 25.5% : 前期からの価格改定が寄与し、前年同期の24.7%から上昇
- 営業損失 3,332百万円 : 引渡棟数減少の影響が大きく、住宅事業で3,688百万円の  
営業損失

(単位:百万円)	2015/5期 3Q	2016/5期 3Q	増減	前期比
売上高	96,167	87,000	-9,166	90.5%
売上総利益	23,747	22,207	-1,540	89.5%
利益率	24.7%	25.5%	-	-
営業利益	-2,488	-3,332	-843	-
利益率	-	-	-	-
経常利益	-2,703	-3,952	-1,303	-
利益率	-	-	-	-
税引前当期純利益	-3,081	-4,160	-1,133	-
利益率	-	-	-	-
当期純利益	-2,575	-3,341	-820	-
利益率	-	-	-	-

## 8. 連結貸借対照表 (B/S)

- 資産 : ①現預金の減少 : 前期末が休日のため、5月末支払手形の決済日が6月にズレ発生、および引渡棟数の減少  
②たな卸資産の増加 : 第4四半期に引渡が偏る傾向にあり、前期末に引渡棟数増加による未成工事支出金の減少  
当第4四半期の引渡に向けた未成工事支出金、仕掛販売用不動産が増加
- 負債 : ①支払手形、工事未払金の減少 : 前年5月末支払手形の決済日が6月にズレ発生、および引渡棟数の減少  
②未成工事受入金の増加 : 第4四半期引渡予定の仕掛中物件の増加

(単位:百万円)	2015/5期4Q	2016/5期3Q	増減	(単位:百万円)	2015/5期4Q	2016/5期3Q	増減
流動資産	55,311	57,625	2,313	負債合計	72,677	77,880	5,202
現金・預金	27,119	19,842	-7,276	支払手形 工事未払金等	21,806	17,035	-4,771
受取手形・完成工事未収入金等・営業貸付金	3,307	4,603	1,295	短期有利子負債	11,340	14,459	3,119
たな卸資産	20,385	27,939	7,553	未成工事受入金	12,388	21,160	8,771
その他流動資産	4,499	5,239	740	長期有利子負債	15,299	17,003	1,704
固定資産	31,760	31,280	-479	その他負債	11,842	8,221	-3,620
有形固定資産	25,476	25,272	-203	純資産合計	14,393	11,024	-3,369
無形固定資産	536	446	-90	株主資本	13,680	10,073	-3,607
投資有価証券	1,311	1,349	38	その他包括利益累計額	378	552	174
その他投資等	4,435	4,211	-223	非支配株主持分	334	399	64
資産合計	87,071	88,905	1,833	負債及び純資産合計	87,071	88,905	1,833

## 9. 通期見通し（修正）

- 一層の着工管理・工期短縮を図りましたが、職人確保の難航、一部資材の供給に問題が生じたこと等により工事進捗の大幅な前倒しに至らず、当期計画していた売上が翌期にずれ込むこととなり、売上高および営業利益が期首発表予想を下回ることとなった
- 展示場の移転等に伴う減損損失等287百万円を特別損失に計上  
※なお、平成28年5月期の配当予想につきましては、前回予想の1株当たり10円から変更ございません

(単位:百万円)	2015/5期 実績	2016/5期 前回予想	2016/5期 今回予想	前回予想との増減
売上高	149,570	153,700	137,700	-16,000
営業利益	4,580	2,800	1,000	-1,800
利益率	2.7%	1.8%	0.7%	—
経常利益	4,509	2,800	300	-2,500
利益率	2.7%	1.8%	0.2%	—
親会社株主に帰属する当期純利益	1,717	1,000	-800	-1,800
利益率	1.0%	0.7%	—	—

TamaHome®

＜お問合せ先＞

タマホーム株式会社 経営企画部広報・IR課

TEL : 03-6408-1200

<http://www.tamahome.jp/>

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向および市場環境や

当社の関連する業界の動向、その他内部・外部要因により変動することがあります。

従いまして、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性がありますことを、予めご了承ください。